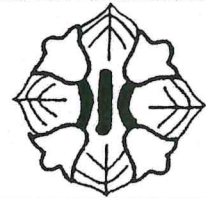


上風連の子



No.9 平成27年10月26日(月) 発行責任者 校長 菊地 祐一

学校ブログのアドレス <http://www.aurens.or.jp/kids/>

最高に輝いた「45人の宝物」

上風連小学校長 菊地 祐一

爆弾低気圧や台風23号の影響により、10月に入ってから2日も臨時休校になってしまいました。当然、練習スケジュールも大幅に変更しなければならず、担任も子どもたちも大慌て。しかし、ピンチをチャンスに変えてしまうのが上風連の子どもたち。これぐらいのことではビクともしません。10月17日の学芸会保護者公開では見事なパフォーマンスを繰り広げてくれました。今年の学芸会のスローガンは「45人の宝物」～笑顔と本気と感動を届けよう～でした。どの学年も友だち同士協力し、最後まで諦めないで取り組む姿をみせてくれたようです。

学芸会といえば、「セリフは間違えないでちゃんと言えるかなあ」「器楽合奏が上手にできるか心配だな」「踊りはみんなと揃えてしっかり踊れるかな・・・」etc. どうしても、悪い方へ悪い方へと考えが進むものです。観ている親たちも「大丈夫かな・・・」とやはり心配な気持ちが先に立ちます。演じている子供たちも、観ている大人たちも、「間違える事」への恐怖と戦っているようなものです。でも、間違えたっていいのです。失敗したって何も困らないのです。誰だって大勢の人の前に出ると緊張します。平常心ではいられなくなります。大事なものはまさにその「失敗した時」なのです。劇の最中にセリフを忘れてしまったとき、周りの子どもたちはどんなフォローをしているのか。あるいは友だちに助けられた子が、相手に対してどんな気持ちを持つのか等、子どもたち同士の協力や助け合いこそが、学芸会を通して学んで欲しい大切なことの一つなのです。



今年は例年より、舞台係や放送係、照明係等、どの係も仕事の量が多く、演じていない子どもたちの活躍がとて光った学芸会でもありました。保護者アンケートでも、「友だちや他の学年のために一生懸命に働く子どもたちの姿に感動しました」という意見もたくさんいただいています。まさに「45人の宝物」が笑顔と感動を届けるために、あらゆるところで「本気」になって取り組み、そして優しい心で友だちと協力して一つのことを成し遂げた、そんな学芸会になったようです。



保護者・地域の皆様には、早朝よりたくさんの方々にご観覧いただき、また心温まる励ましの拍手を送っていただきました。本当にありがとうございました。